

栃木放送平成 23 年度第 10 回 3 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 24 年 3 月 6 日(火)午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 8 名

欠席委員 1 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	副委員長	鈴 木 正 好
	委 員	太 田 照 男
	委 員	小 島 俊 一
	委 員	安 納 守 一
	委 員	佐 藤 正 典
	委 員	竹 内 明 子
	委 員	荒 川 勉
局側出席者氏名	代表取締役社長	栗 山 正 道
	取締役	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也
	報道制作部	大 橋 幸 夫

4 議 題

( 1 ) 「下野の国から元気を 第 3 回大鍋まつり」について

( 2 ) その他

5 議事内容

( 1 ) 「下野の国から元気を 第 3 回大鍋まつり」について

試聴番組：平成 24 年 3 月 4 日(日)放送のおよそ 15 分間を試聴

議題説明：報道制作部 大橋 幸夫

「下野の国から元気を 第 3 回大鍋まつり」の番組の概要について説明。

次に 3 月 4 日放送の番組を試聴し、審議に入る。

各委員からは、

長時間の放送ができるのもラジオの良さだと思う。

オープニングテーマの三味線の音が合っていないような気がした。

全体的には出展者の方言などもあってよかった。

オープニングのテーマ曲はワクワク感があってよかったと思う。

構成もよかった。

賑やかでよかった。食べ物をラジオで伝えるのは難しいと思う

が、只見のおばちゃんとか釜石の課長の話ももっと聞きたいと

思った。

実際に会場に行ったが、途中、ラジオで聞いていたときは券が

まだあると言っていたが、着いてみたらなかった。もっと伝え

方の工夫がほしい。料理ショーも会場で見ている人にはわかる

が、ラジオではよくわからなかった。

5 時間半に及ぶイベントの中継は賑やかな雰囲気伝われば成功

だと思う。よく分からない部分は仕方ないと思う。テーマの

内容が伝わればいいのではないか。出演者のメッセージも伝わ

った。

臨場感があり、賑やかさが伝わった。

交通情報も入っていてよかった。想像できる内容だった。被災

者の方も楽しみにしていると言っていた。

リポーターの「ホントに？」という言葉は否定する言葉なので

使わない方がいいと思う。

来場者や出展者、後援団体などにアンケートをとったほうがよ

かったと思う。

いい企画だが、鍋の食数を増やしたほうがいいと思う。

当社としては、これらの意見を参考に、今後の番組作りに取り組  
んでいきたい旨を説明した。

## (2) その他

平成 24 年度春の改編の基本方針などを説明したほか、平成 24 年度  
第 1 回 4 月期の審議会を平成 24 年 4 月 17 日(火)に開催すること  
を決めて閉会した。

以上